

サイエンスフェスタ参加報告

能勢高校自然科学部・農業クラブが優秀賞受賞

今年も8月の20日（土）・21日（日）の両日、大阪市内の梅田にある「ハービス大阪」で青少年科学の祭典（サイエンスフェスタ）が開催されました。

本校からは、自然科学部と農業クラブが4年前より合同でブース展示を行っています。今年は「里山の生き物」というテーマで、能勢に生息する自然の生き物の動体展示を行いました。里山の昆虫王者である「カブトムシ」と「クワガタ」を本校技師の協力で多数捕獲し、飼育ケースの外でも触れることができたので子ども達に大人気でした。

その効果で、子ども達から昆虫の飼い方や繁殖方法を尋ねられて、生徒は自分なりの知識で精一杯答えていました。また、クラフトテープを使った昆虫作りやイモリの観察からカードに色を塗る体験もできて、終日能勢高校の展示ブースは子ども達の歓声で大賑わいでした。最終日に、今年の展示ブースで何校かが表彰の対象となり、科学の分野の中の生物分野で主催者より「優秀賞」を授与されました。



昆虫ふれあいコーナー



ブース展示の様子



表彰風景



クラフトテープで作れた昆虫